

# 「第9回みんなでワイワイさんあいイベント」開催に係る 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

令和2年10月1日  
特定非営利活動法人ハニー・ビー

本ガイドラインは、令和2年11月8日（日）、豊中市ふれあい緑地芝生広場2（以下「会場」という。）で開催の「第9回みんなでワイワイさんあいイベント」（以下「本イベント」という。）での新型コロナウイルス感染拡大予防対策を、様々な見地から検討し、本イベント開催において考えられる事項を整理したものです。

本ガイドラインは、政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」（令和2年3月28日策定・5月25日更新）を踏まえ作成します。

## 1 感染防止のための基本的な考え方

本イベントの会場は、会場全体がフェンスで囲まれ、かつ開催日当日は会場全体を本イベントで使用のため公園管理者より占有許可を得ており、出入口での入退場管理がしやすい野外施設で、こうした会場の特性や、本イベントの規模・内容を十分に踏まえ、本イベントに来場する者（以下「来場者」という。）、会場設営管理者、出演者、出展者など事業に参加する者（以下「イベント関係者」という。）及び本イベントの管理運営に従事する者（以下「従事者」という。）への新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、以下の対策を講じていくものとします。

## 2 主催者（＝特定非営利活動法人ハニー・ビー）が講じる具体策

### (1) リスク評価

主催者は、新型コロナウイルスの主な感染経路である接触感染（①）及び飛沫感染（②）のそれぞれについて、来場者、イベント関係者及び従事者の動線や接触等を考慮したリスク評価を行います。

事業の中止や利用を回避すべきとの判断に至った場合は、できるだけ速やかに来場者、イベント関係者及び従事者に対して本イベントの開催が困難になる旨を周知します。

#### ① 接触感染のリスク評価

他者と共有する物品やドアノブなど手が触れる場所を特定し、高頻度接触部位（金銭、マイク、テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、蛇口等）には特に注意して評価します。

#### ② 飛沫感染のリスク評価

会場における人と人との距離や位置、方向、大声での対話等が頻発する場所等の状況を評価するとともに、基本マスクの常時着用等、感染予防に対応したテント、机、

椅子等の配置などを考慮し、社会的距離の確保を評価します。

③ 集客イベントとしてのリスク評価

開催にあたっては、会場出入口での入退場が長時間滞留せず人と人との距離が一定程度確保できるかどうか等について、評価します。

④ 地域における感染状況のリスク評価

地域の生活圏において、地域での感染者の確認状況を踏まえて本イベント開催への影響について評価します。

(2) 会場内及び周囲の関係個所（以下「会場内等」という。）における対応策

主催者は、リスク評価（①②）を踏まえ、会場内等の管理について以下の措置を講ずるとともに、イベント関係者への要請や来場者への周知を図ります。

① 会場内等

- 会場内等で不特定多数が触れやすい場所の接触部位の消毒を定期的に行う。
- 会場へ入場するすべての人に対し基本マスクの常時着用を要請し、それについての注意喚起を行います。
- 会場出入口に消毒液を設置し、手洗い・手指の消毒を励行するよう表示します。消毒液は不足が生じないよう定期的な点検と補充を行います。
- 会場内のゴミ箱のゴミを定期的に回収します。また、本イベント終了後、イベント関係者に回収済みのゴミ袋の持ち帰りを要請します。
- ゴミ袋の回収を行う者のマスクやゴム手袋の着用の徹底と、作業終了後の手洗い消毒などの徹底を指示します。

② 会場入口

- 主催者において、会場入口に検温器具による体温確認及び手指消毒用の消毒液を設置します。
- 従事者、イベント関係者のマスク常時着用を徹底します。
- 来場者にマスクの常時着用、咳エチケットや手指消毒の励行、接触確認アプリへの登録などの注意喚起を要請します。
- 会場出入口付近のソーシャル・ディスタンスを確保し、密集が起きないための対策を講じます。

③ 休憩スペース、会場内のテーブル、椅子

- テーブル、椅子は、ソーシャル・ディスタンスを考慮して配置します。
- テーブル、椅子等の高頻度接触部位を定期的に消毒します。

④ テント

テント出展者には以下のことをお願いします。

- 従事スタッフの事前の検温、体調管理
- 従事スタッフマスクの常時着用
- 従事スタッフ咳エチケット、手洗い、手指の消毒の励行（消毒液の設置）
- テーブル、感染防止の透明ビニールカーテン、来場者が触れる物品の定期的な消毒

## の徹底

- 試食品など提供の休止
- 不特定の者が触れるような形でのサンプル品・見本品の展示が原則休止
- 出展により出るすべてのゴミの持ち帰りの徹底

### ⑤ ステージ

- ・ 使用後のマイクは、出演者が入れ替え毎に差し替え、そのつど消毒を行います。
- ・ 「3密」になりやすい更衣室は、感染予防を優先し、設置しません。

### ⑥ 会場周辺のトイレ2か所

- 従事者を配置し、定期的にドアノブ等の消毒を行います。
- 混雑する場合は、できるだけ間隔を空けて整列するよう使用者に指示します。
- 使用者にトイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示します。

## (3) 従事者、イベント関係者に関する感染防止策

- 本イベント開催前3日間及び本イベント開催日当日の従事前には必ず自宅等で検温および体調確認を管理し、その記録を「体調管理表」に記入し、イベント開催日当日主催者への提出を義務づけます。仮に、管理表より平熱と比べて高い発熱がある場合や、当日従事前の会場での検温で37.5度以上の発熱が確認された場合や、下記に該当する場合は確認された場合には、確認された者は本イベント参加辞退を指示する対応をとります。

\*咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐等の体調不良の症状がある場合

\*過去2週間以内にPCR検査で陽性とされた者との濃厚接触がある場合

\*過去2週間以内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合等

- 従事者やイベント関係者の緊急連絡先や勤務状況を主催者にて把握します。
- 保健所と適切に連携し、また医療機関への連絡体制を構築します。

## (4) 周知・広報

来場者に対する感染症予防策や注意事項、主催者が取り組む感染拡大防止策などについて、会場入口及び会場内の掲示や主催者ホームページなどの方法で周知・広報を図ります。

- マスクの基本常時着用、咳エチケット、手洗い・手指の消毒の徹底
- ソーシャル・ディスタンスの確保への協力要請

下記に該当する場合は、来場を控えるよう周知します。

\*平熱と比べて高い発熱（37.5℃以上）がある場合や、下記の症状等に該当する場合

\*発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、眼の

- 痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐の症状のある場合
- \*PCR検査で陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- \*過去2週間以内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合等

- ・大阪府の「大阪コロナ追跡システム」や政府のアプリ「COCOA」など、新型コロナウイルス接触確認アプリの積極的な活用を周知・広報します。

#### (5) 保健所との連携

本イベント開催における感染予防対策及び来場者、イベント関係者、従事者に感染の疑いのある者が発生した場合など速やかに連携が図れるよう、所轄の保健所との連絡体制を整えます。

### 3 イベント関係者に協力を求める具体的な感染防止対策

イベント関係者が必要な措置を講じていないと認められる場合、主催者としてイベント関係者に対し、必要な措置を講ずるよう十分協議をします。

#### <来場者の来場前の対策>

##### (1) 来場者との関係

- ・来場前の検温等の体調管理の要請のほか、来場を控えてもらうケースを、主催者のホームページ等で事前に周知します。
- ・接触確認アプリ等を活用する場合、その旨を事前に周知します。

##### (2) イベント関係者との連携

- ・主催者はイベント関係者の氏名及び緊急連絡先を把握し、名簿を作成し、必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に主催者のホームページ等で周知します。
- ・本ガイドライン及びこれを踏まえた現場の対応方針を、全員に周知徹底を図ります。

#### <イベント当日の対策>

##### (1) 周知・広報

- ・感染予防のため、来場者に対し以下について周知します。
- ・咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底
- ・ソーシャル・ディスタンスの確保の徹底
- ・下記の症状に該当する場合、来場を控えるよう周知します。
  - \*平熱と比べて高い発熱（37.5℃以上）がある場合や、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐等の症状がある場合
  - \*PCR検査で陽性とされた者との濃厚接触がある場合
  - \*過去2週間以内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国・地域への訪

問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合等

(2) 来場者の入場時対応

- ・来場者に、基本マスクを常時着用すること要請します。
- ・来場者は、入場口で手指消毒すること要請します。
- ・来場者には、入場口で検温器具等にて体温チェックを実施します。
- ・来場者は、入場口で「大阪コロナ追跡システム」への登録を要請します。  
(本システムの登録が出来ない来場者には、書面への連絡先の記入を要請します。)
- ・以下の場合には、入場できない旨を周知します。

\*平熱と比べて高い発熱(37.5℃以上)がある場合や、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐等の症状に該当する場合

\*PCR検査で陽性とされた者との濃厚接触がある場合

\*過去2週間以内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合等

(3) 会場内の感染防止策

- 接触感染や飛沫感染を防止するため、消毒やマスク着用と会話抑制、ソーシャルディスタンス等、複合的な予防措置に努めます。

(4) 感染が疑われる者が発生した場合の対応策

- 感染が疑われる者が発生した場合、速やかに会場内の密集エリア外の場所へ誘導し、体調を聴取し、必要ある場合は救急車の要請等の緊急措置の対応を行います。
- 対応するスタッフは、マスクや手袋の着用を徹底します。
- 速やかに医療機関及び保健所へ連絡し指示を受けるとともに、必要な情報の提供を行います。

(5) 来場者の退場時の対応

- 退場口にスタッフを配置し、混雑時には退場する来場者の密集を避ける工夫を行います。

<本イベント終了後の対策>

- 来場者、イベント関係者、従事者に感染が疑われる者が出た場合、保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報提供を行い、また主催者のホームページ等で公表をいたします。

以上

